

# 日本産酒類の輸出促進連絡会議説明資料

平成29年3月28日

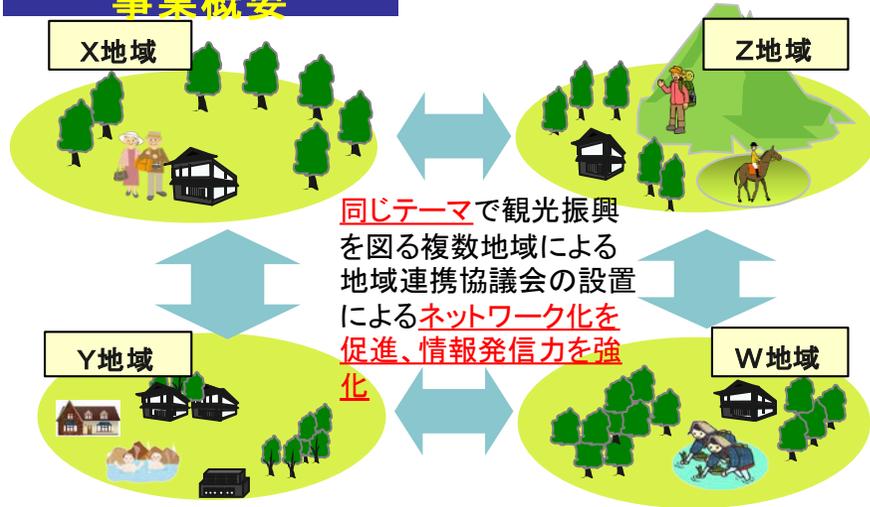
観光庁

# テーマ別観光による地方誘客事業

平成28年度予算額 70百万円(新規)  
平成29年度予算額 151百万円(継続)

共通の観光資源(世界遺産、街道、社寺、酒蔵、エコロジー等)により、観光振興を図る各地域をネットワーク化し、共同プロモーション等の取組を通じた、モデルケース形成を支援する。  
地方誘客の促進とネットワークの自立、継続する仕組み構築を目指す。

## 事業概要



## 地域連携協議会の構成

各地域の市町村や関係団体等から構成

## 事業の流れ

地域連携協議会の設立・準備

地域連携協議会の設立

ネットワーク化

各地域間の情報共有と共通した取組の実施

## 国による支援例

### ネットワークの構築

・地域連携協議会の設立

### ネットワーク間の共同での取組

- ・マーケティング
- ・共通パンフレット
- ・周遊クーポン等の作成
- ・周遊プランの形成
- ・共同プロモーション
- ・共同サイト開設

### ネットワークの拡大推進

- ・シンポジウム開催
- ・共通マニュアル作成 等

## 支援計画

ネットワークの自立、継続のため、必要に応じ複数年の支援も予定

例

1年目

- ・ネットワークの構築
- ・マーケティング

2年目

- ・共同サイト開設
- ・共同プロモーション
- ・モニターツアー開催

3年目

- ・共通マニュアル作成
- ・周遊プラン形成

4年目～

- ・ネットワークの自立性、継続性の確立

## テーマ別観光の例

### 酒蔵ツーリズム

- ・酒造りの現場見学会の開催
- ・杜氏を交えた利き酒会
- ・酒の副産物を活用した商品開発



## 期待される効果

### 旅行者

- ・我が国の固有のテーマを探求したいリピーター等に質の高い旅行を提供し、特定のテーマに関心の高い旅行者にとって、**より魅力的な旅行を享受**

### 各地域

- ・新たなテーマ設定による地域の観光資源の発掘
- ・旅行者の地方誘客動機を促し、**新たな需要を創出**

### 地域連携協議会

- ・地域間で課題や**成功事例を共有**することによる、**効果的な観光振興策の推進**

# 平成28年度テーマ別観光による地方誘客事業選定一覧（7件）

テーマ	協議会名 (協議会の代表者)	概要
エコツーリズム	エコツーリズム地域推進協議会 (NPO法人日本エコツーリズム協会)	○北海道や群馬等エコツーリズムを進める地域をネットワーク化し、着地型旅行商品の販売方法や地域内の連携方法を情報共有させるため、インバウンド向けの調査や商談会、コンテンツの作成等を行う ○平成28年9月21日(水)に協議会設立総会を実施済。
街道観光	街道観光推進会議 (NPO法人全国街道交流会議)	○全国の街道地域をネットワーク化し、街道に関係する城下町や宿場町などの歴史的風土を活かした「街道観光」をテーマに、共同でのプロモーションやモニターツアーの実施等を行う。 ○平成28年10月24日(月)に協議会設立総会を実施済。
近代建築ツーリズム	近代建築ツーリズムネットワーク (青森県弘前市)	○国立西洋美術館を含むル・コルビュジエの建築群が世界文化遺産登録され、近代建築の文化的価値に対する関心が高まっていることを踏まえ、まず今年度は同氏の弟子であった前川國男建築にゆかりのある全国各地をネットワーク化する。前川氏の作品を巡るモニターツアーの開催やシンポジウム、PRツールの作成等を行う。 ○平成28年11月18日(金)に協議会設立済。
酒蔵ツーリズム	酒蔵ツーリズム推進協議会 (株)アサツー ディ・ケイ	○全国各地の酒蔵を新たにネットワーク化し、共同プロモーションに向けた基礎調査やモニターツアーの実施等を行う。 ○平成28年11月1日(火)に協議会設立総会を実施済。
社寺観光 巡礼の旅	社寺観光地域連携協議会 (一社)全日本社寺観光連盟	○全国に点在する社寺を巡礼の地としてつなげる「社寺観光」を推進するため、今年度は徳川家康公没後400周年にゆかりの深い社寺(静岡・愛知・埼玉・栃木・宮城)をネットワーク化し、インバウンド向けモニターツアーや多言語サイトの構築等を行う。 ○平成28年9月28日(水)に協議会設立済。
明治日本の産業革命遺産	明治日本の産業革命遺産世界遺産ルート推進協議会 (一財)産業遺産国民会議	○世界遺産「明治日本の産業革命遺産」(8県11市)をネットワーク化し、多言語ガイドマップやホームページ製作等を通じ、各地域への訪問者が周遊する仕組みの構築を行う。 ○平成28年6月20日(月)に協議会設立総会を実施済。
ロケツーリズム	ロケツーリズム協議会 (株)地域活性プランニング	○ロケツーリズムに取り組む全国各地をネットワーク化し、どの地域でも実践できるロケ誘致から観光客向け情報発信に至るノウハウのマニュアル化、モデル地域におけるロケ地マップの制作、ロケ地ツアーの商品化等を行う。 ○平成28年10月13日(木)に協議会設立総会を実施済。

## 酒蔵ツーリズムに関する共同プロモーションの推進

各地域が各々の特色を活かした、その地でしかできない「酒蔵ツーリズム体験」の造成と情報発信により地域相互の誘客を促進し、さらなる地域振興を実現することを目指す。

### 28年度の主な取組

#### ●取組と成果

- ・協議会会員100団体、70酒蔵以上が参画する新たな「酒蔵ツーリズム推進協議会」を組織化。
- ・2箇所でのモニターツアーを実施し、旅行商品化に向けての情報発信と今後の課題を抽出。
- ・共同プロモーションWEBサイトの制作。効率的な情報発信に向けての基盤作り。
- ・動画制作等での情報発信。



### 29年度の目標等

#### ●目標

国内外富裕層の誘客および地域内消費が図れる「酒蔵ツーリズム成功エリア」を作る。

#### ●取組内容

- ・国内外富裕層向けの潜在力のあるスター地域候補を選定し、モニターツアーを実施。広報活動と実施体制等の会員共有化を図る。
- ・会員共同プロモーションサイトの更新、多言語化、情報発信等を行い、情報ポータル化を進めて行くとともに、リアル接点を含めたPRを実施していく。
- ・外国人対応施策を進めていく。

### 具体的事業内容(予定)

- (1)酒蔵モニターツアーの実施
  - ①富裕層向けモニターツアー
  - ②海外富裕層向けモニターツアーの実施、情報発信
- (2)会員共同プロモーションの実施
  - ①共同プロモーションサイトの更新、活性化、PR
  - ②展示会出展他のPRを実施
- (3)会員向け施策の共有・標準化
  - ①通訳案内の育成、派遣。外国人向け酒蔵訪問等の受入体制の共有
  - ②会員向け酒税免税セミナー等の開催

ネットワークの取組による  
酒蔵ツーリズムの振興